

製品名: ADAMDEC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06594**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	ADAMDEC1
別名	ADAMDEC1; ADAM DEC1; A disintegrin and metalloproteinase domain-like protein decysin-1; ADAM-like protein decysin-1
遺伝子 ID	27299.0
SwissProt ID	O15204
免疫原	ADAMDEC1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 10-90

背景

このコードタンパク質は、ディスインテグリンメタロプロテアーゼファミリーに属する分泌タンパク質であると考えられています。

その発現は樹状細胞の成熟期に上昇します。このタンパク質は、樹状細胞の機能および胚中心 T 細胞との相互作用において重要な役割を果たす可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月], 補因子: サブユニットあたり 1 個の亜鉛イオンと結合します。機能: 免疫応答の制御および妊娠において重要な役割を果たす可能性があります。誘導: 樹状細胞の成熟期に誘導され、T 細胞シグナルに応答して上昇します。マクロファージでは、リポ多糖 (LPS) によって上昇します。初代単球からマクロファージへの分化過程において、 $1\alpha,25$ ジヒドロキシビタミン D3 によってアップレギュレーションされる。類似性: ディスインテグリンドメインを 1 つ含む。類似性: ペプチダーゼ M12B ドメインを 1 つ含む。組織特異性: 小腸および虫垂で高度に発現し、リンパ節、結腸粘膜、胸腺、脾臓で中等度に発現し、骨髄では非常に弱く発現する。胚中心の樹状細胞 (DC) で優位に発現する。単球では弱く発現し、マクロファージでは高度に発現する。未熟 DC では発現しない。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。